

留学のとびら

Gateway to Overseas Studies

留学のとびら

2015 年度 活動報告書

(文責: 岩月大器、村瀬明里、村瀬裕太)

留学のとびらについて

留学のとびらは、名大生の留学支援を目的とした、名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者や、将来的に留学をしようと志している名大生によって運営されている。多様なバックグラウンドを持つメンバー同士で、交換留学生を増やすために留学のとびらとしてできることを活発に話し合い、企画を立て、海外留学室に相談し、実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

留学のとびらの理念

1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出
 - 留学を希望する名大生に、情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになる支援をしていく。
 - 将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。
 - 名古屋大学から派遣される交換留学生の量と質の両方の向上に取り組む。
2. メンバーの個性とリーダーシップの発揮
 - メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う
 - 多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

留学のとびらの活動対象と活動内容

留学のとびらとして取り組んでいる5つの活動対象とそれぞれの活動対象に対する活動内容を次ページの表に示す。

2015年度の活動

活動対象	定義	活動内容
① 留学予備軍	留学に興味があるが、まだ準備など具体的な行動をしていない人。(留学についてまだ知らない人も含む)	留とび出張ランチ
② 準備組	留学のための情報収集など準備を始めている人。海外留学室や留とびに相談に来てくれた人。	留とびアワー・ランチ 海外留学フェア
③ 内定組	秋派遣・春派遣で交換留学行きが決まった人。	オリエンテーションでの出張プレゼン
④ 留学組	現在留学をしており、海外にいる人。	留とびブログ
⑤ 帰国組	交換留学を終えて、帰ってきた人。	留とびブログ サブメンバーリスト

留学のとびらのスタンスとしては、①～⑤のうち、各メンバーが取り組みたい活動にそれぞれ担当者を割り当ててリーダーシップを発揮してもらい、年々新たな活動を生み出している。

設立の経緯と活動

2009年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」は、2015年で設立7年目を迎えた。(2010年より主要メンバーが卒業・進学等で団体運営が困難になったため海外留学室が主体となり、2010年12月に新たにメンバーを募集して再設立)留学のとびらの特徴として、半年ごとにメンバーの大半が入れ替わることが挙げられる。半年を単位として、留学の際の渡航、留学からの帰国、就職活動、卒業等が繰り返され半年ごとに雰囲気は新しくなる団体である。メンバーの流動性の高さゆえに短期間で関係を構築する高いコミュニケーション能力が必要とされる。2014年度には就職活動のスケジュール変更もあり、上級生で代表役を回すことができなくなったため新たに加入した2年生を代表に据えるなど新たな動きもあったが、新代表始め2年生等下級生の活躍でこれまで通りに順調に運営できた。最近では1年生から留学のとびらに入る人が続出しており、留学が差し迫っていない人にとっても留学のとびらに入ることの様々な魅力が増していることを裏付けている。

メンバーについて

- 2015年度の終了時点でのメンバーは27名である。(学部生と大学院生を含む)
- 前期代表：村瀬明里
- 後期代表：村瀬裕太

ミーティングについて

- 週に1度、1時間～1時間30分程度。学期が始まる前の長期休暇中にメンバーの都合の良い曜日と時間を集計し決定する。
- 今後のイベントの企画・相談(留とびアワー・ランチ・留学フェア等)
- 実施したイベントの反省

2015年度前期 実施イベント

「名大生のための海外留学フェア」

概要：今回で9回目の実施。留学から帰国した人の新鮮な体験談など留学を振り返りつつ留学の全体像を留学志願者に伝えることが目的。今回は、様々な国や大学からの帰国者の経験談を聞きに、50名ほどの名古屋大学生が参加。

日時：6/24(水)15:00-18:00

場所：ベンチャービジネスラボラトリー

リーダー：村瀬明里 サブリーダー：中條裕基

内容：パネルディスカッションとフリートークの二部で構成。

<一部：パネルディスカッション>

パネリスト

1. アメリカ 加藤優(文学部)
2. 香港 植手淑乃(文学部)
3. オーストラリア Ho Chui Ping(G30)
4. イギリス 高木若菜(工学部)

質問内容

1. 留年するかどうか、またそのことに関する意見
2. 語学試験について
3. 留学前にしておくべきこと

4. 留学中の失敗談
5. 留学について
6. どんな授業を受けたか
7. 留学を通して自分の何が変わったか

<二部：フリートーク>

派遣地域ごとに分けてブースを作成。留学経験者と留学に興味のある人が自由に会話する機会とした。

反省

- ・ イベントの告知が十分に行き渡っていなかった。各種告知方法(ポスター、ビラ配り、海外留学室メーリングリスト、Facebook、授業前告知等)を担当者や役割分担を一元管理して各種告知方法での達成度を共有する仕組みが必要。



海外留学フェアの様子

「留とびアワー・留とびランチ」

2014年度からの取り組み。毎週木曜日のお昼時間(12:10-12:50)にテーマを決めて開催。留とびアワーはプレゼン形式で、これから交換留学を目指す人の為に、どのように留学準備を

行えるか、留とびメンバーの実体験を基に説明した。テーマは、時期や需要に合わせて各回ごとに設定した。留とびランチは、座談会形式を取り、各テーブルごとにテーマに合わせた留学志願者の個別の相談に乗る機会としている。

5/7(木) ランチ 「留学に関すること全般」

5/14(木) アワー 「英語の勉強方法」

5/21(木) アワー 「シラバスの調べ方」

5/28(木) アワー 「授業の選び方」

6/4(木) ランチ 「面接についての相談会」

6/11(木) ランチ 「 留学経験者との相談会」

6/18(木) ランチ 「留学経験者との相談会」

6/25(木) ランチ 「留学経験者との相談会」

7/2(木) ランチ 「語学試験対策を中心に」

7/9(木) アワー 「留学中の休暇の過ごし方」

「出発前オリエンテーションでの出張プレゼン」

海外留学室主催の留学内定者へむけたガイダンスにおいて、留とびメンバーが留学に対する心構えなどについて経験談やアドバイスを交えてプレゼンを行った。

反省：

留とびアワー、留とびランチともに、参加人数が事前に把握できておらず、せっかく準備してきたのに参加者が2～3名しか集まらないといったことも多かった。一つ一つの活動に対する費用対効果を上げるべく、告知方法・告知担当者・参加者人数等の管理はエクセルを使用するなどして一元管理するなど管理の工夫が必要。海外留学室と連携を深め、より一層広報に力を入れる。

他には、プレゼン内容とニーズの不一致や留学経験者との個別話し合いで事足りるのでアワーの必要性低いというケースもあるので、より充実した足を運ぶ価値のあるコンテンツの提供をしていきたい。

「留とびブログ」

概要：2014 年度から始まった取り組み。留とびメンバー一人一人が順番でブログを更新し、留とびホームページと留とびフェイスブックページ上にアップしていく。

内容：各メンバーの留学した国や大学に関すること、語学の勉強方法など

2015年度後期 実施イベント

「留とびアワー・留とびランチ」

2014年度からの取り組み。毎週木曜日のお昼時間(12:10-12:50)にテーマを決めて開催。留とびアワーはプレゼン形式で、これから交換留学を目指す人の為に、どのように留学準備を行えるか、留とびメンバーの実体験を基に説明した。テーマは、時期や需要に合わせて各回ごとに設定した。留とびランチは、座談会形式を取り、各テーブルごとにテーマに合わせた留学志願者の個別の相談に乗る機会としている。

- 10/8(木)留とびランチ「秋派遣留学の応募に関する質問会」
- 10/15(木)留とびアワー「志望校選びのポイント」
- 10/22(木)留とびアワー「履修の仕方・シラバスの見方」
- 10/29(木)留とびアワー「留学経験を帰国後どのように活かすか」
- 11/5(木)留とびアワー「秋派遣志望書の添削」
- 11/12, 19(木)留とびアワー「秋派遣面接の練習」
- 11/26(木)留とびアワー「GLOBAL NETWORK 合同説明会」
- 12/3(木), 12/10(木), 12/17(木)留とびランチ「出張留学相談会」

反省：

前期の反省を活かして広報を徹底して行うことを意識した。イベントごとにビラ、Facebook、HPを用いて必ず告知するようにしていた。その結果、11/5(木)留とびアワー「秋派遣志望書の添削」、11/12, 19(木)留とびアワー「秋派遣面接の練習」では一定の集客を得ることができた。だが、それ以外の回は前期同様満足な集客は得られなかった。このことから、広報の方法だけでなく、テーマのニーズについても正確に検討する必要があると考えられる。

11/26(木)留とびアワー「GLOBAL NETWORK 合同説明会」は、GLOBAL NETWORKの紹介と知名度の向上を意図に行われた初の試みであった。内容は、各団体の代表が活動についてのプレゼンを行うというものであった。GLOBAL NETWORKが合同で活動を行い、連携を深めるという意味では意義はあった。しかし、集客力の不足のため、本来の目的の達成度は不十分であった。

12/3(木), 12/10(木), 12/17(木)留とびランチ「出張留学相談会」は、普段IEECで行っている留とびランチを全学教育棟の学生ホールで行うという初の試みであった。趣旨は、IEECに入ることに抵抗のある学生や、興味の程度が薄い学生でも気軽に相談できる場を提供するというものであった。結果は、学生から訪ねてくることはほぼなく、こちらから声をかけて数人話を聞いてくれるという程度であった。

「留学準備オリエンテーションでの出張プレゼン」

海外留学室主催の留学内定者へむけたガイダンスにおいて、留とびメンバーが出発までの準備や心構えについて経験談やアドバイスを交えてプレゼンを行った。

「立命館大学留学支援団体まいるとの代表スカイプ会議」

11月に立命館大学留学支援団体「まいる」の代表中道彩さんと留学のとびらの代表、村瀬裕太が村山先生を交えて、スカイプを通して意見交換を行った。互いの活動内容や、広報の方法、組織運営の仕方や抱えている問題などについて話し合った。今後活動を行っていく上で、参考になる部分が多く、とても有意義なものであった。

「東海教育改革フォーラム in 東海 2016 ポスターセッション出展」

3月12日（土）に「学生主体の留学支援活動」をテーマとして、「東海教育改革フォーラム in 東海 2016」のポスターセッションにポスターを出展した。当日は、海外留学室の村山かなえ先生、岩城奈巳先生とともに、村瀬裕太、宗宮駿介が参加し、訪れた大学関係者の方々に団体の活動について説明を行った。改めて団体の活動を振り返るとともに、第三者からの評価や意見、アドバイスを得られる貴重な機会として非常に意義のあるものであった。

「公式ロゴ作成」

知名度の向上を目的にロゴを作成した。右は、留学のとびらの正式なロゴである。今後は SNS やポスターなどに積極的に利用していきたい。



来年度の抱負

来年度の抱負としては以下の二点があげられる。

一点目は、留学のとびらの知名度の更なる向上である。来年度には、設立八年目を迎えるが、団体としての知名度は、決して高いとは言えない。今後も、より多くの名大生に留学の魅力を伝えていくためにも、知名度の向上のための更なる取り組みが必要である。

二点目は、安定した団体としての組織づくりである。今までの留学のとびらの傾向として、業務が代表を中心とした、一部のメンバーに偏ってしまうという問題があった。また、業務の引継ぎも、大きな課題であった。そこで、来年度は安定した組織づくりをテーマに掲げ、部門制度の充実を図り、各メンバーが責任をもって業務にあたるようなシステムを作っていく。また、各部門ごとに業務マニュアルを作成し、引継ぎの課題も解消する。